

令和7年度岡山県災害廃棄物仮置場計画検討支援等業務仕様書

1 業務名称

令和7年度岡山県災害廃棄物仮置場計画検討支援等業務

2 業務の目的

災害発生時、被災地の復旧、被災者の生活環境の保全に支障を来すことがないように、大量に発生する災害廃棄物を迅速かつ円滑に処理することが不可欠である。とりわけ、災害廃棄物を一時的に集積する仮置場を早期に設置し、適切に運営管理することが重要となる。

このため、処理主体となる市町村を中心に、災害支援協定締結団体である一般社団法人岡山県産業資源循環協会（以下「協会」という。）等の関係者が一堂に会し、仮置場の設置や管理運営に対する知識の習得、さらに実際の仮置場候補地を題材に、仮置場の設置や管理運営などの検討を行うことを通じて対応力の強化、連携体制の向上を図る。

3 業務期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

4 業務の内容

(1) 仮置場計画検討支援業務

① 連絡会議（県主催）への運営支援業務

市町村、協会との連絡体制の確認を趣旨として県が主催する連絡会議（県民局単位で開催（計3回））における、モデル対象仮置場（備前局、備中局、美作局管内各1か所）の現地視察を円滑に進めるための資料提供を行う。

② 仮置場計画の作成

以下の関係者及び有識者の意見や抽出された課題を踏まえ、モデル対象仮置場を所管する市町村が災害発生時に迅速に仮置場を設置できるよう仮置場計画を作成する。

ア 対象仮置場の利用方法の検討

対象市町村が事前選定したモデル対象仮置場の立地条件、土地の基盤整備（集排水管等の埋設物を含む）の状況、輸送ルート、電気や上下水道等のインフラ整備の状況等の適性調査を実施し、仮置場内の災害廃棄物の保管場所の配置等を決定したモデル対象仮置場に対し、搬出先の選定、仮置場の運営管理手法、広報資材（受入案内）などについて、協会関係者及び関係市町村に対し意見照会を行う。（2回程度を想定）

イ 仮置場計画案に対する有識者の意見聴取

仮置場計画案に対する有識者の意見を聴取する。有識者の意見聴取に係る費用の支払い事務を行う。

(2) 研修会開催業務

災害廃棄物処理に関する知識習得及び関係者の連携強化を目的とした研修会を開催する。研修会の構成や資料作成、会場の確保・運営、各会への出席、司会進行、説明等、協議録の作成等の運営支援を行う。（会場借上に費用が発生する場合は県が負担する。）（県全体で1回を想定）

なお、研修会の内容は、県と協議の上決定するが、研修会の講師を推薦し、講師（人材バンクなどに登録されている自治体職員を想定）の出席に必要な旅費、報償費の負担、支払い事務を行う。研修会では、以下の内容を中心に検討を行う。

- ・災害廃棄物処理に関する基礎研修（公費解体の事務処理制度の概要・課題）

- ・災害時協定締結団体等の支援内容等に関する紹介
- ・災害廃棄物関係業務の市町村の取り組みの紹介
(県内で先進的に取り組んでいる市町村を想定)

(3) その他

本県等と事業実施に関する打合せを行う。(3回程度を想定)

5 成果物の納品

次の成果物を作成し、令和8年3月31日までに岡山県環境文化部循環型社会推進課に提出する。

- ・仮置場計画及び研修会報告書 電子データ (CD又はDVD)

6 再委託の可否

本業務の再委託は禁止とする。ただし、県の承認を得た場合を除く。

7 成果の帰属及び機密保持

(1) 成果の帰属

本業務により作成した成果物の著作権、使用权等は本県に帰属するものとする。

(2) 機密保持

本業務において知り得た業務上の秘密を保持しなければならない。

8 その他

仕様の詳細については、本県担当者の指示に従うものとし、契約内容及び対応方法(作業内容及び経費)について疑義が生じた場合、速やかに本県担当者との協議を行うこと。